

令和4年7月27日

安城市長 神谷 学様

高棚町内会長 石川健一

安城市議会議員 石川博雄

農事組合法人高棚営農組合代表理事 神谷 力

株式会社デンソー高棚製作所所長 榎井宣克

高棚町農用地利用改善組合長 石川健一

高棚環境向上委員会会長 石川健一

稗田川を安全安心にする会会長 神谷義孝

稗田川堤防の改修要望について

稗田川は、安城市高棚町内を源とし、高浜市、碧南市を通り、油ヶ淵、衣浦湾へ流れている二級河川です。高棚町内では、下水道が一部で敷設されている

ものの、各世帯からの雨水排水は稗田川に集まります。また、先進農業が行われている大規模な農用地からの雨水排水や、産業愛知の一翼を担うデンソー始め優良工場からの雨水排水も、稗田川に集まります。このように、稗田川は、高棚町内6.66km²のほぼ全ての雨水排水を一手に集め、この地域の発展を支えている重要なインフラです。

稗田川は、茨池川合流地点より上流（安城市所管）においては、コンクリート壁で整備されていますが、下流（愛知県所管）においては、下部は石組、上部は土草のままのところが多く残っています。このため、平成12年の東海豪雨では、稗田川の水は堤防を越えて氾濫しました。平成20年の豪雨でも、堤防を越えて水田地帯を覆うように氾濫し、住宅の基礎まで到達しました。こうした近年の豪雨・大雨にもかかわらず、茨池川合流地点より下流においては、本格的な改修は行われてきませんでした。

こうした中、愛知県並びに安城市におかれましては、平成28年度及び平成29年度の要望をご理解いただき、迅速なる対応をいただきましたこと、心から感謝を申し上げます。

しかしながら、稗田川には、様々な課題が残されたままであり、以下3点について、要望させていただきます。

(1) 崩落個所の改修

稗田川の堤防には、石組が壊れ、法面がえぐられたままの箇所が残っていま

す。川床に散乱する石組は、豪雨・大雨の濁流により、崩れた部位を拡大させ、新たな崩落箇所を発生させる崩落スパイラルが懸念されます。法面のえぐれもさらなるえぐれを誘発してしまいます。これらは、平成28・29年度の改修では見送られた箇所であり、速やかな改修をお願いします。

(2) ガードレールの改修

堤防道路のガードレールは、土砂の流出、堤防法面のえぐれなどにより、ガードレールの基礎部分の底が抜けて宙に浮いたり、傾いたりしております。堤防道路を走行する車両の振動により、さらなる損傷が生れております。これらは、平成28・29年度の改修では見送られた箇所ありますので、速やかな改修をお願いします。

(3) 堤防内の雑木等の除去

堤防内に大きな雑木が繁茂しております。特に、中敷橋から下流100m付近では、堤防の石垣に、ササ、蔓性植物、雑木などが根を張って成長、繁茂しております。これら雑木等は、石垣を損壊し、いったん豪雨・大雨があれば、川の流れを堰き止め、氾濫の原因となる危険があります。一部、平成28・29年度に改修を行っていただいた部分もありますが、その後の成長は著しく、改めて雑木等の速やかな除去をお願いします。

以上、稗田川の現状について把握いただき、危険箇所について速やかに緊急防災対策を実施いただきますようお願い申し上げます。

以上